

乳がん検診

マンモグラフィ検査を行います。注意事項をよく確認のうえ、お申し込みください。

費用：2,000円（生活保護受給者は無料）

- ▶**対象**…40歳以上の女性で「奇数月生まれ」「前年度受診のない偶数月生まれ」「無料クーポン該当者」
- ▶**定員**…各日50人※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施人数を制限しています。
- ▶**場所**…保健センター（中央図書館前）

▼ 申込方法

健康支援担当窓口、官製はがき・FAX・メールで申し込み。
※1回につき複数人の申し込みは不可。

《はがき・FAX・メールで申し込みする場合は、下記の項目を記入して申し込み。》

- ①乳がん検診申し込み②住所③氏名（ふりがな）④生年月日⑤日中連絡可能な電話番号⑥検査日の希望（第2希望まで。ない場合は「希望なし」と記入）

申込期間
9/1
～
9/30

日程 11/26(木)・27(金)

▼ 申込時のお願い

・官製はがきの場合は、締切当日の消印有効です。FAX・メールの場合は締切日までの受付。申し込みは**9月30日まで**（締切厳守）。30日以降に抽選を行い、受診券の郵送をします。受診券が届くまで1～2週間程度かかりますが、ご了承ください。

▼ 検査ができない人等

- ①妊娠しているまたは可能性のある人
- ②授乳中の人
- ③卒乳後1年以内の人
- ④豊胸術をした人
- ⑤胸壁に人工物が入っている人
- ⑥乳房の手術後1年以内の人
- ⑦検診バスへの移動に不安のある人



下記イベント会場は、すべて中央図書館
申込みは中央図書館にて受付（先着順・電話可）。すべて無料。

① 中高年の読書会 —ビブリオバトル方式—

9月17日(木) 14:00～15:30 (受付13:40～)

- ▶**定員** 大人20人（うち発表者5人）
- ▶**共催** みよし読書愛好会・図書館
- ▶**内容** おすすめの本を持参し、1人5分以内で紹介して意見交換をします。



聞くだけの参加も歓迎！

② 大人のためのストーリーテリング&フルート演奏

10月11日(日) 14:00～15:10 (受付13:40～)

- ▶**定員** 大人20人
- ▶**語り** 池山房子氏 ほか
- ▶**フルート** 岡山暁子氏 ほか



図書館だより



中央図書館 ☎ 258-6464
開館時間 / 10:00～17:00
休館日 / 毎週月曜日、月末

竹間沢分館 ☎ 274-1722
予約資料貸出窓口のみ。開設時間 / 13:30～16:00
休み / 毎週月曜日、月末

配本所（中央公民館内） ☎ 258-0050
開館時間 / 9:00～21:00
休館日 / 原則第1月曜日（中央公民館休館日）

※8/24現在、中央図書館・配本所は一部利用制限を設けて開館中。※竹間沢分館は予約窓口のみ詳しくは中央図書館にお問い合わせください。

敬老の日 おすすめの本 別置紹介中



一般書
『俺たちはどう生きるか』
大竹まこと / 著
集英社 2019年7月発行
請求記号：S779

昨年、古希（70歳）を迎えた人気お笑いタレントによる随筆集。学生時代や、売れない舞台役者をしてきた頃を回想しつつ、現代社会に対する違和感、若者への思いを誠実に綴る。今なお、迷いながら生きる著者のマイノリティーに寄り添う視座がまたたき。

動画で見る！離乳食の作り方

離乳食初期（生後5～6か月）を対象とした作り方動画をYouTubeで配信しています。

1日目から 10倍がゆ（電子レンジ）



QRからアクセス



2週目頃から 野菜ペースト



QRからアクセス



3週目頃から たんぱく質ペースト



QRからアクセス



離乳食についてご不明な点は下記にお問い合わせください。
☎ 子育て世代包括支援センター ☎ 270～273

新型コロナウイルスの影響で 里帰りができない妊産婦への補助

新型コロナウイルスの感染拡大により、埼玉県域をまたいだ里帰り出産ができなかった妊産婦に、里帰りができなかった時期（令和2年4月1日～令和3年3月31日の期間内）に利用した育児支援サービスなどの利用費用の一部を補助します。

▼ 対象者

- ・三芳町に住居登録のある人
- ・令和2年4月1日以降に新型コロナウイルス感染症の流行により、埼玉県外への里帰りができなかった人

▼ 対象サービス

- ・産後ケア事業（宿泊、アウトリーチ型）
- ・子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業、緊急サポート事業）
- ・一時預かり事業
- ・病児保育事業
- ・産後ヘルパー

詳しくは
子育て世代包括支援センターへ
内線 270～273



みよし歴史探訪

文化財保護課 ☎ 258-6655

発掘現場からよみがえる、太古の三芳

現在、藤久保保壱の交差点から北西へ向かうと下り坂になりますが、この交差点付近に、鉄くずが拾えることから「カナクン山」とよばれる場所がありました。また、坂の下には、かつて「丸池」という池がありました。このあたりを川が流れていた名残です。今回取り上げる遺跡は、そうした場所に広がる保壱遺跡です。

町内で初めて見つかった製鉄遺跡

平成17年の発掘調査では、今から約1300年前、奈良時代の鉄を作っていた作業場跡や住まいの跡（3軒など）が見つかりました。

ところで、鉄を作るためには、砂鉄と木炭のほか、製鉄炉や鋳型を作るための粘土も必要になります。調査では



↑ 保壱遺跡の広がり



↑ 手前の穴は全て粘土採掘坑 大きなもので直径4mを超える



↑ 住まいの床に張り付いた鉄くず 鉄製品を作っていた痕跡

太古と現代を結ぶもの

保壱遺跡では「カナクン山」「丸池」という現代に残されたヒントが、発掘調査の成果と見事に結びつきました。太古の暮らしの痕跡は、実は私たちの身近なところに、今も息づいているのです。

木炭を作るための炭焼き窯、粘土を採るための大きな採掘坑のほか、製鉄炉に風を送るための羽口、鉄製品を作るための鋳型も見つかりました。

砂鉄はすぐ近くを流れる川から集め、木炭はこの場所に生えている木を伐採し、粘土は地中を掘って採取する。鉄製品を作るための一連の作業が、この地で計画的に行われていたことが明らかにになりました。